

様式1 管理運営状況評価書

【対象年度:平成25年度】 (③駐車・駐輪施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	21.22.23	施設名	掛川駅北駐車場、駅南第1駐車場、駅南第2駐車場		担当課名	都市政策課	
区分			内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名		掛川市駅周辺駐車場条例				
	(2)施設設置目的		掛川駅周辺における道路交通の円滑化を図るとともに、掛川駅及び駅周辺施設の利便性に資するため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要		駅北 37台 駅南第1 51台 駅南第2 144台 3施設合計 232台				
	(4)施設建設年度		昭和63年3月開業(新幹線新駅開業と同時)				
	(5)耐震性能の有無		有(※当該3施設はいずれも青空駐車場)				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)		全自動料金徴収システム機器類更新に係るリース料:H27年度～約7,200千円				
	(7)指定管理者名		小笠山麓開発株式会社				
	(8)指定期間		平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態		①指定管理料のみによる運営				
	(10)自主事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(11)指定事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無		☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし					
(13)利用者満足度調査等実施の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)					

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		125,090	129,826	132,601		
	内訳 (施設・設備ごと)	駅北	41,174	41,856	41,505		
		駅南第1	50,406	53,145	56,478		
		駅南第2	33,510	34,825	34,618		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)	駅北	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		駅南第1	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		駅南第2	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		52	50	50			
	(3)運営日数		365	366	365	365		
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	3.0	3.0	3.0	3.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	
	②印刷費	700,000	600,000	700,000	700,000	
	③通信費					

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	50,000	125,000	100,000	100,000	
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	10,000	5,000	5,000	5,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	1,047,000	1,057,000	1,052,000	1,052,000	消費税含む
	計	6,557,000	6,537,000	6,607,000	6,607,000	
	対前年度増減率		△ 0.3	1.1	0.0	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	11,865,000	11,865,000	11,865,000	11,865,000	
	管理補助業務	9,450,000	9,450,000	9,450,000	9,450,000	
	夜間警備	2,415,000	2,415,000	2,415,000	2,415,000	
	②修繕費	100,000	120,000	50,000	50,000	
	③光熱水費					
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	11,965,000	11,985,000	11,915,000	11,915,000	
	対前年度増減率		0.2	△ 0.6	0.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		18,522,000	18,522,000	18,522,000	18,522,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	35.4	35.3	35.7	35.7
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	77,098,810	76,421,600	77,185,850	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	1,175.8	1,169.1	1,168.2	

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入	77,098,810	76,421,600	77,185,850	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	18,522,000	18,522,000	18,522,000	
収支差額 a)－b)	58,576,810	57,899,600	58,663,850	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) 指定事業・その他事業の収入				
d) 指定事業・その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	なし
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	前年度より50%以上増加している。	2	なし
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している(原因を追及する)。		

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	3	なし
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	駐車区画の白線がほとんど消えてしまっている箇所があるため、H26年度で対応する。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	駐車場運営自体は民間で実施できる事業であるが、大幅な黒字が確実視できる事業であり、その利益を特別会計や一般会計において様々な予算に充てていることから、行政の関与は必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいいため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	なし
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

14

／18

V その他自由意見

--